

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算      支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

**事業名 消防職団員能力向上対策事業費**  
**(新型コロナ対策)**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防学校 管理調整係 電話番号：0586-89-3226

E-mail：c21201@pref.gifu.lg.jp

**1 事業費                      補正予算額    5,688 千円 (現計予算額： 0 千円)**

**<財源内訳>**

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,688	0	0	0	0	0	0	0	5,688
決定額	5,688	5,688	0	0	0	0	0	0	0

**2 要求内容**

**(1) 要求の趣旨 (現状と課題)**

コロナ禍により課題となっている消防団の新規入団者に対する訓練のため、出前講座による教育訓練を実施していくが、団員の家族や事業主など関係者に理解が得られない団員については、参加が進んでいないため、関係者に安心してもらうため、出前講座時に抗原検査キットを始めとした推奨品を装備し、感染防止対策を講じた訓練の定着を進めていく。

また、併せて感染防止対策推奨品及び資機材を使用した、訓練時の感染症対策マニュアルを作成し各消防団に周知する。

**(2) 事業内容**

○感染防止対策推奨品及び資機材 (出前講座で使用)

- ・抗原検査キット      @3,300×1,200人分      3,960千円
- ・プロテクトグラス    @ 700× 180人分      126千円

・アルコールジェル	@ 500×1,200 人分	600 千円
・電子ホイッスル	@3,000× 180 人分	540 千円
・N95マスク（30枚入）	@5,000×40 箱	200 千円
・非接触体温計サーマルカメラ	@100,000×2 基	200 千円
○訓練時の感染防止対策マニュアルの作成		20 千円
○事前配布用郵送代	@1,030×40	42 千円

### （３） 県負担・補助率の考え方

消防組織法に基づき、県負担で整備

### （４） 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	5,446	消耗品費 5,446
役務費	42	
備品購入費	200	備品購入費 200
合計	5,688	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### （１） 各種計画での位置づけ

財政面が厳しい折り、感染拡大防止対策を図ることが難しい消防団も多く、訓練が実施できないことから現場活動に支障をきたしている。議会でもそのことを問題視している発言があり、県として多角的にバックアップする必要がある。

### （２） 国・他県の状況

### （３） 後年度の財政負担

コロナ禍においては多人数が集まれないことから、コロナ禍が続く限りは本事業を継続する必要がある。

### （４） 事業主体及びその妥当性

消防学校は消防職団員の教育を実施するものであり、学校運営は、消防組織法で都道府県が実施すると定められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 コロナ禍において、消防団の多くが訓練を実施できておらず、現場活動に支障をきたしていることから、早急に事業を実施する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

消防団の現場出動体制を確保することが目的であり、達成率を示すことができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	○ コロナ禍において現場活動に支障をきたしている消防団をサポートし、消防力の維持を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 団員の参加を促進するため、家族や事業主の訓練参加に対する理解を得ることが必要。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 消防団における出動体制が確保できない限り、継続して実施し、出動体制をバックアップしていく必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	